



「思い」と「思いやり」 気持ちをカタチに



6年ぶりに詫間中学校の正門に立っていて感じるのは、きちんと声に出してあいさつができる人が多いということです。みなさんの元気のよい「おはようございます」という声を聞くと、どんなに疲れている朝でも、今日がんばろうという気持ちがわいてきます。私は、あいさつも相手に対する「思いやり」だと思います。みなさんの「思い」が声となって相手に伝わっているのです。大きい声が出れば、相手の目を見れば、その気持ちは、より伝わります。思いや気持ちは見えません。どんなによいことを考えていても、よい思い・気持ちを

もっていても、何かの言動として表さなければ、それは他の人に伝わらないのです。

東日本大震災の後、テレビのCMで話題になった詩が上の写真です。実際に放送されたCMは次のようなものでした。ある男子高校生が電車に乗って座席に座っています。大勢の人で混雑している電車の中で、彼は妊娠してお腹が大きくなっている女性が立っているのを見ます。座席を譲ろうと思ったけれど実行できません。すると別の女性が、その人に席を譲ってしまいます。電車を降りた男子高校生は、階段を上がっています。目の前に、苦しそうに上がっている高齢者を見つけます。そのまま通り過ぎようとしたけど、先ほどの後悔を思い出し、勇気を出して、高齢者に声をかけ、手をとって階段を上がるのを手伝います。心でどんなによいことを考えたり、思っていたりしても、それを行動にしなければ相手に伝わらないというメッセージでした。その気持ちをカタチに。（もしYouTubeを見る機会があったら「AC ジャパン 見える気持ちに」で検索してみてください。）

夢は逃げない 逃げるのはいつも自分だ

みなさんは「座右（ざゆう）の銘（めい）」という言葉を知っていますか。常に自分の心にとめおいて、励ましや戒（いまし）めとする言葉のことです。タイトルは高橋歩（実業家、随筆家）さんの言葉です。投げ出したくなったとき、逃げ出したくなったとき、その言葉を思いすと、また、がんばる勇気をもらえます。いくつか紹介します。



- ◆ 「やればできる」ではなく、「やらなきゃできない」のです。
- ◆ 向き、不向きより、「前向き」。
- ◆ 道がないわけじゃない。歩こうとしないだけだ。
- ◆ 元気は出るものではなく、出すものです。
- ◆ 努力している人は希望を語り、怠けている人は不満を語る。
- ◆ 努力は素質を上回り、気力は実力を超える。
- ◆ 逃げない。隠（かく）さない。ごまかさない。
- ◆ 「明日やろう」は馬鹿野郎。
- ◆ 失敗は恥ずかしいことではない。恥ずべきは、そこから立ち上がらないことだ。
- ◆ 一生懸命働けば知恵が出る。中途半端に働くと愚痴（ぐち）が出る。いい加減に働けば言い訳が出る。
- ◆ 何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。
- ◆ みんな初めての人生をやっている
- ◆ たった一言が人の心を傷つける。たった一言が人の心をあたためる。「ありがとう」は幸せの始まり。